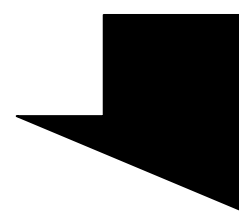


annual report 事業報告書

2008



2009

**NPO法人 G-net**

# 代表挨拶

01年10月に取り組みを始めたG-netの活動も本当に多くの方々に支え応援を頂き、この10月には9年目を迎えることとなります。この8年間は、様々なヒトやコトとの出会いを頂き、たくさんの教えていただき、気づかせて頂いた日々の連続だったと感じます。

これまで、多くの方々にお世話になり、支えていただいたからこそ、ようやくここまで取り組みを重ねさせていただいたんだ、と感謝の気持ちでいっぱいです。

様々な出会いに今日改めて感謝を申し上げると同時に、私どもは本当に地域を変えていくんだという覚悟をご参加いただいた方々にお伝えし、そしてお一人お一人と共に動き出す機会とさせていただきたいと思えます。

この1年間を振りかえってみますと、確実に取り組みが積み重なってきている実感があり、行政や大学などとの連携や、実績の輩出という観点からも成果が生まれつつあります。事業エリアも岐阜地域のみこれまで原則限定して取り組んできましたが、東海三県への広域展開に踏み出しました。また、09年度以降の理事会改変や賛助会員制度の開始、学生部(3charge)に向けた準備期間として意義深いものもありました。こうした中で、経済産業省「ソーシャルビジネス55選」に選出されましたことは、大変な励みでした。

しかしながら、インターン事業においては会費収入ベースで当初見込みを下回り、行政受託に下支えされて取り組みを継続できていることは否めぬ状況でもあります。

いよいよ09年度は3年後・5年後を見据えた中で、大胆な成長戦略を描き挑んでいくと同時に、持続可能な事業体として確実な歩みを進めていくため、悲願であるインターン事業の収益化やより多くの方々にご参画を頂く組織への転換を含めた、賛助会員制度の導入などを推進していきたいと考えています。

G-netは地域で、チャレンジをする人々を応援し、つなぎ、そしてスポットライトを当てる演出家でありコーディネーターであれればと思っています。G-netに縁あるすべてのヒトが、この地域という舞台上、それぞれが主役になり、そして脚光を浴びる。そんなチャレンジを共に歩む存在であり、地域に点在する意欲や熱意ある方々をつなぎ、更なる仕掛けを生み出す存在でありたいと思っています。

舞台上上がり、輝くヒトが増えることこそが本当の地域活性化であると確信しているからです。09年度より、改めてG-netのありたい姿として以下のキーワードを決めました。

G-netは挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に。

こうしたことも、多くの出会いの中で気づかせていただきました。地域変革は、特定の誰かによってなしとげられるものではない気がします。

主役は、G-netではありません。きっかけから、一步を踏み出した地域で挑戦を重ねる若者や女性、そして経営者の方々こそが主役。ぜひ、ご注目ください。

そしてぜひ、一緒に舞台を作りましょう。

特定非営利活動法人G-net  
代表理事 秋元 祥治

# G-netのロードマップ

第一フェーズ  
「主体者としての挑戦」

トークライブ  
カウントダウン GIFT

- ・01年10月 期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ
- ・トークライブイベントを定期開催
- ・「カウントダウンイベント」を開始(01~04)



カウントダウン GIFT

ビーンズフェスタ  
政策提言PJT

- ・岐阜の枝豆と、夢のマメを応援する夏祭り「ビーンズフェスタ」を開始(02~07)
- ・05年より実行委員会組織へ発展的移行
- ・柳ヶ瀬活性化に向けた政策提言の実施(02・03)



ビーンズフェスタ2002

笑いと感動のまちづくり  
フリーペーパー創刊

- ・03年5月 NPO法人格取得
- ・フリーペーパー「ORGAN」・「Beans!」創刊(03~07)
- ・初の行政受託「笑いと感動のまちづくり」(03~05)



ORGAN

第二フェーズ  
「伴走者としての挑戦」

ホンキ系インターン  
U・ターン支援

- ・経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択(04~06)
- ・「ホンキ系インターン」事業開始(04~)
- ・高知/横浜国立大/中京大等での単位化開始(06~)
- ・岐阜信用金庫との連携開始(06~)
- ・岐阜大/四日市大/日本福祉大等での授業開始(07~)
- ・岐阜県「U・ターン促進事業」協働開始(04~06)

月曜セミナー  
プレゼン塾

- ・若者向け「ゲツベン」毎週開催(06~)
- ・プレゼン塾(全7回)の定期開催(07~)
- ・月イチ「ジャンプアップ研修」の発足(09~)



ゲツベン

商店街/販促支援  
創業・独立支援

- ・柳ヶ瀬商店街での販促/集客支援(06~07)
- ・経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催(06~)
- ・創業支援(相談窓口、セミナー、レンタルオフィス)本格開始(07~)
- ・各務原商工会議所(08~)/岐阜商工会議所(09~)との連携

チームぎふサロン  
新連携

- ・連携創出のための交流×勉強会「チームぎふサロン」(06~)
- ・経産省「新連携」「地域資源活用プログラム」等採択(06~)
- ・創業希望者と既存事業者のマッチング支援開始(07~)

チャレンジアワード  
挑戦文化の創出

- ・ブラザー工業100周年記念事業「東海若手企業塾」参画(08~)
- ・社会起業フォーラムの開催(08)
- ・挑戦の尊さを評価する地域表彰制度の新設
- ・「がんばる学生団体応援パック」サービスの開始

チームで運営を行う  
地域変革のエンジンへ

- ・経営力向上にむけ理事会へ改組(09~)
- ・学生部「3charge」発足(09~)
- ・賛助会員制度の発足(09~)



チャレンジするヒトを応援したい

第三フェーズ  
「チームぎふ」としての挑戦

- ・組織の安定化(社団法人化)と、事業モデルの他地域への展開

# G-netの事業戦略

【G-netミッション】

**挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に！**

**思いを言葉にし、言葉を行動に変えていく起業家的・創造的人材の育成を通じ地域活性化に貢献する。**

【G-net経営方針】

起業家的な若者を育む機会として、社会の中で魅力ある師匠の下、ホンキな挑戦機会の提供を通じてミッション実現をめざす。

若者/女性/高齢者の再チャレンジを支援し、地域資源を活かしたコミュニティビジネス・社会起業の創出を支援していく。

経営/意思決定/運営に若者や地域の人々がコミットする組織構造を目指し、事業収入/会費/助成金の健全なバランスを保ち、持続可能な経営を実現していく。



【事業実施のポイント】

**意欲ある人々のチャレンジを支援し  
共感を呼ぶ成功事例を創出し、挑戦を誘発していく**

【コア事業】

**ホンキ系  
インターンシップ**

**ホンキ系インターン**



**創業・独立支援**

G-netの存在意義は何か？

- ・地域であり、地域産業を担う主体的/自律的な人材を育む仕掛け人や、取り組みが必要だ。
- ・大学を真に地域に開かれ、社会に有用な人材育成の場への転換は、我々が担うべき役割だ。
- ・都会より地域、大企業より小企業、衰退より革新・・・新たな社会での生き方を示し、ひっくり返す存在。
- ・本当に地域を変えていくことにこだわる。活動することだけでなく、変革をし成果を上げることにこだわりきる。

# ホンキ系インターン

## 東海三県へとエリア拡大し大学・行政連携が前進。事業自立がいよいよ正念場。

# 08

### 事業エリアの拡大

08年度は、これまでの岐阜地域に特化した事業展開から、三重県庁からの東紀州地域での実施委託を機に東海三県へとエリア拡大をし大きな飛躍の土台を築くことができました。初となる名古屋でのインターンシップフェア開催は、愛知県内の大学生(約20万人、岐阜県内は約2万人)に訴求に大きな効果を発揮しました。また、受入企業・昭和技研さんとの連携を通じマンガを主体とした訴求ツールも効果的でした。

### 大学・NPOとの連携を強化

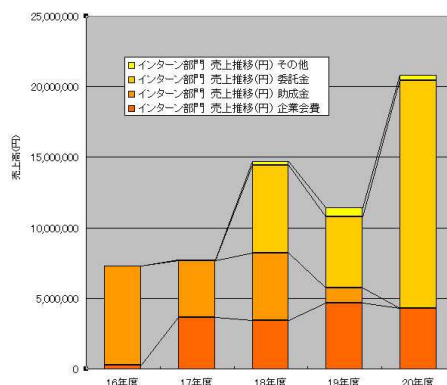
大学連携も大きく進歩があり、新たに岐阜大学・三重大学・愛知県立大学・四日市大学・名古屋産業大学などで授業科目を担当させていただいたり、単位認定にむけた見通しが立ちました。こうした中、地場産業振興をテーマにしたNPO法人メイドインジャパンプロジェクトさん(会員企業・約1700社)との本格的な連携が進み、受入企業の新規開拓の新たな道筋も生まれました。

### 地域での実践型インターン・日本一

こうした取り組みが評価され、地方都市における長期実践型インターンシップのパイオニアとしてアメリカ国務省「IVLP」への採択や、経済産業省「ソーシャルビジネス55選」選出とつながり、三重県など他地域からの視察・受託につながっています。

### 経営環境の厳しさ

一方で、受入企業からの会費収入には伸び悩んでおり行政委託(経済産業省)で収支をなんとか維持している状態です。企業からの会費収入拡大にむけた取り組みが強く求められる状況です。

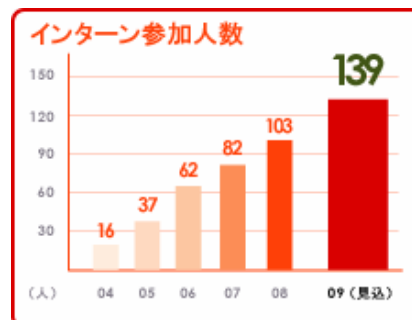


## 行政委託をテコに、規模・質両面での大幅な躍進にむけた取り組みを強化。

# 09

09年度は以下の3つの方針を掲げて事業推進し、未曾有の不況下で造成された各種基金事業を活用しながら広域での事業規模の拡大とともに、研修プログラム・ツール開発など質の強化に取り組みます。こうした取り組みを通じ、09年度中のインターン事業の自立化と継続的な運営体制作りを目指します。

- 1) エッジの効いた地場産業の現場でのインターン受入企業数拡大  
中小企業庁「人材の橋渡し事業」の採択をテコに、中小企業団体・NPO、オリベコンソーシアムなどと連携し企業開拓を実施。
- 2) 「東海地区インターンシップ協議会」や各大学との連携強化  
名古屋でのフェア開催や、授業科目・単位認定化へ働きかけ。
- 3) 学生部「3charge」を活かすインターンフェア運営  
学生スタッフやインターンOB等による企画・運営体制を確立
- 4) 全国を対象に「地場産業インターン」の聖地へPRを実施  
「地域でのインターン日本一」として全国の若者にWEBを通じ訴求



# 創業支援

## 東海若手起業塾第一期がスタートし、各務原商工会議所でも連携を開始。

# 08

かけたす

07年広範に開始をしたインキュベーションルーム「かけたす」は継続的に運用し、5名の事業者にご利用されました。(6ブースのうち)今後、デスクレンタルに加えた付加価値をいかに提供するか、どういった事業者をより対象としていくのかとったことが次年度以降への課題だと考えられます。

地域力連携拠点(各務原商工会議所)

各務原商工会議所が地場産業や創業・独立者を支援するために開始した地域力連携拠点事業(中小企業庁事業)において、代表・秋元が創業支援などを主に担当する県内最年少の専門家として参画。創業セミナーなどを数回実施、また起業家の個別経営相談なども行いました。社会的事業やコミュニティビジネスなどを主に担当しています。

東海若手起業塾

ブラザー工業100周年記念事業として、NPO4団体で東海地域で社会性のある若手起業家を支援するプログラムをスタート。G-netは広報事務局と起業家の個別支援を担当しました。担当したヘアサプライ・ピア社は日経ウーマンオブザイヤー受賞にいたり、また三州フルーツ工房社は、事業実施の戦力としてインターン受入に至っています。



地域力連携拠点・各務原



東海若手起業塾

## 岐阜商工会議所ともパートナー機関へ。小出氏やまちおこし高嶋屋とも連携強化。

# 09

G-netのいわば師匠であり、公的産業支援の全国的カリスマである小出宗昭氏や、創業支援事業を統括してきたG-net高嶋が独立した「まちおこし高嶋屋」との連携を進めながら自前主義でなく、多様な方々からの「借り物競争」を進めながら事業を推進していきます。

また、岐阜商工会議所が進める地域力連携拠点にはパートナー機関として加わり、岐阜地域でも商工会議所と連携した取り組みを加速させていきます。

- 1) インキュベーションオフィス「かけたす」  
運営ルールを見直し、対象とする事業やサービスラインナップを新たに定め、第2期募集を行います。
- 2) 商工会議所と連携した事業サポート  
岐阜・各務原商工会議所と連携を通じて新規創業希望者向けセミナー「創業塾」などを実施。また、個別相談を実施していきます。インターンOBの独立希望者なども、会議所と連携し多様な専門家とサポートを進めます。
- 3) 農商工連携等人材育成講座の実施  
中小企業庁「人材橋渡し事業」の一環で実施される農商工連携等人材育成事業を受託し、多様な異業種・異分野連携を通じた新規事業の推進をサポートしていきます。



商工会議所での  
セミナーチラシ

# 事務局・ファンドレイジング

## 2事業部への事業の絞込みを徹底。 理事会改組、学生部・会員制度創設準備へ。 08

### 2事業部への選択と集中を加速

「ホンキ系インターン」「創業・経営支援」2事業への取り組みの集中のため、07年度に撤退決定をしたピーズンフェスタ・フリーペーパー事業の撤退処理を進めました。一方、インターン事業加速に向けて新規スタッフの確保にも努めてきました。

### 理事会改組・学生部

経営力の向上と、更なる事業展開に向けてインターン受入企業など会社経営者や大学関係者、有識者などを社外役員としてお招きすることを目的に理事会の改組にむけた社内での研究・事例調査を進めました。

また、学生がより主体となる組織体制への移行を目指し、日本初となる学生主体のNPO法人・ブレンヒューマニティなど他事例の視察等を実施し、学生部「3charge」の立ち上げを進めました。



学生スタッフと専従職員と。

### 会員制度創設(ファンドレイズ)にむけた準備

より地域の方々に参画を頂き、透明性と社会性のより高い事業運営に向けて、また安定的な財務基盤の確保を目的に、賛助会員制度の設計・運用を09年度中に開始すべく他地域事例調査などを行いました。2011年には、年間1000万程度の会費収入を目標に取り組みを進めていきます。

## 理事会改組・学生部、会員制度スタートへ。 収支改善とより安定した組織基盤整備を。 09

09年度は昨年度より準備に取り組んできました組織づくりをすすめます。理事会改組・学生部(3charge)創設・賛助会員制度の3つの取り組みを進めていきます。また、フェロー・評議員制度、社団法人化など、多様な形でのかわりを可能にする組織変革は絶えず検討・推進を進めていきます。

### 社外役員の方々

理事：中島徳至氏、田中禎一氏、高橋武秀氏

監事：森川幸江氏



理事 中島さん 学生部 浅野さん

### 収支改善と経営基盤整備へ

累積債務の解消とより安定的な事業実施に向けて、自主事業の収益力強化・受託事業の遂行・賛助会員制度を推進していきます。また、コミュニティーユースバンクmomoなど市民バンクや一般金融機関などの密に連携をとりながら事業を推進していきます。

### 【お願い】

07年度より、賛助会員制度(別紙参照)を本格的に運用してまいります。G netのサポーターとして、個人・法人問わず多くの方々に支えていただきたく思います。よろしくお願いいたします。



NPO法人G-net  
500-8844 岐阜市吉野町6-2-2 プラザービル2階  
t/ 058-263-2162 f/ 058-263-2164  
URL; <http://www.gifist.net>